

普及活動情勢報告（令和6年11月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

環境測定をして病害に備えましょう ～SAWACHIを活用したシントウ管理を指導～



シートを確認しながら指導する普及指導員ら

10月18日、須崎市のハウスシントウ生産者1戸に、JA営農指導員とともに、環境測定データに基づく栽培管理を指導しました。

農業改良普及課は、SAWACHIで取得したデータをもとに管理シートを作成し、日照量が少なく湿度が高い日は防除をこまめに行うことが重要であることなどについて説明しました。また、毎週の開花数、果実数の調査結果を伝え、収量の変化を共有しました。

生産者からは、「防除の重要性がよくわかった」「花付きの推移を知ることで適切な管理が行えているか参考になる」との意見がありました。

農業改良普及課は、今後もSAWACHIを活用した栽培管理指導に取り組めます。

高品質な水稻の生産に向けて ～大野見しんまいフェスタ～



生産者からの質問に回答する普及指導員

10月20日、中土佐町大野見青年の家で第19回大野見しんまいフェスタが開催され、町内外から生産者を含めた多くの来場がありました。

農業改良普及課は、「にこまる」、「ヒノヒカリ」、「酒米‘吟の夢’」等の水稻の品種特性や今年の作況について説明しました。

来場者からは、「高温に強い品種や高温対策について教えて欲しい」、「カメムシが大量発生する要因を教えて欲しい」といった相談がありました。

農業改良普及課は、今後も相談や技術実証等を通じて、高品質な水稻の生産に向けた支援を継続します。

環境保全型農業直接支払に取り組みませんか ～津野山ユズ目慣らし会～



生産者に説明する普及指導員ら

10月22日、津野山ユズ部会が、JA高知県高西営農経済センター輝会議室で目慣らし会を開催し、54戸の生産者が出席しました。

JAから出荷可能な果実について、実際に果実を見せながら着色程度の判断基準や収穫する際の注意点等について説明がありました。

農業改良普及課からは、環境保全型農業直接支払交付金事業について説明し、制度について周知することができました。

農業改良普及課は、今後もJAと協力して、ユズ園の荒廃を防ぐための取組について検討し、ユズ産地の維持に取り組んでいきます。

作業の効率化に向けて ～カイゼン活動の実践支援～



取組状況を確認する職員

10月28日、中土佐町久礼のシシトウ農家1戸で、作業の効率化に向けた2S活動の実践を支援しました。

農業改良普及課は、農機具等の使用場所からの距離、使用頻度などから、効率的なレイアウト案を作成して農家との協議を行い、不要物の廃棄や必要なものの仮配置等を行いました。

生産者からは、「きれいになって良かった。さらに取組を進めたい」との声がありました。

農業改良普及課は、今後は必要なもののリスト化と整とんを支援し、年度末にカイゼンの取組効果を整理します。

生産力UPを目指して ～みょうが部会決算総会～



資料の説明をする職員

10月29日、須崎市でJA土佐くろしお販売課がみょうが部会決算総会を開催し、生産者ら約90人が参加しました。

農業改良普及課は、葉鞘褐色腐敗病についての報告や、平年と今年の気温と日射量の推移についての説明を行いました。

生産者からは、ベンレート水和剤の使用方法や天敵への影響日数について質問があり、初期防除に対する取り組み意識を高めることができました。

農業改良普及課は今後も関係機関と連携し、巡回指導・調査研究を通じて、産地の生産力向上・安定化を目指します。

栽培管理に環境データを活用しよう ～JA 土佐くろしお園芸部インゲン部会現地検討会～



今後の栽培管理について説明する普及指導員

11月5日、須崎市及び中土佐町の生産者ほ場で、JA土佐くろしお園芸部インゲン部会が現地検討会を開催し、生産者13人が参加しました。

農業改良普及課は、今後の気象や栽培管理、病虫害の防除方法等について説明しました。また、環境測定装置やスマート家電によるハウス内環境データの活用について提案を行いました。

生産者からは、装置などを「どこで購入できるのか」、「データをリアルタイムで確認できるのか」といった質問が出ました。

農業改良普及課は、今後もインゲンの収量・品質向上に向けて、ハウス内環境データの活用を支援します。

探せ！未来の新規就農者 ～津野町産業祭で就農相談を実施～



就農支援策を紹介する普及指導員

11月10日、津野町西運動公園で第20回津野町産業祭が開催されました。

農業改良普及課は、就農相談ブースを設置し、来訪者27人に対して就農支援PRチラシを配布し、就農支援策を紹介しました。

来訪者からは「将来、息子が地元で就農するかもしれない。また相談させて欲しい」、「いろいろな場所で相談会やセミナーがあることを知ることができてよかった」といった声がありました。

農業改良普及課は、今後も新規就農者の掘り起こしに向けて、積極的に就農支援策をPRしていきます。